

シリーズ  
集まりをひらく

あした帰った

あなたはいくつの集まりに身を置いてきただろうか。どういった集まりを好ましく思い、どういった集まりを避けてきただろうか。集まりに生まれ落ちたあなたは、やがて集まりを去りゆくだろうか。集まりはあなたを、あなたは集まりを、迎え入れるだろうか。

7月4日(木) 午後七時開演 「ひきこもりから考えるー『HIKU』再考」 \*無料

フランスで活躍するアーティストが創作した作品『HIKU』は、日本在住のひきこもり生活体験者3名の映像を織り交ぜつつ、本人たちの自宅からのライブ出演を通して、フランスの観客とのやり取りがリアルタイムに行われる舞台作品です。あした帰ったメンバーである八木智大は「ひきこもり生活体験者」として『HIKU』に出演しています。

7月5日(金) 午後七時開演 「あした帰ったはどんな集まりなのか？」 \*無料

参加された人と共に何ができるか、どうすれば共にいられるか、そんなことをよく考えている集まりです。

7月6日(土) 午前十時開演 (1)入る

『入る』に入る皆さまには、珈琲が提供されます。珈琲を嗜みながら、居合わせた人と話しても良いし、ただそこに居続けても良いです。珈琲の全国大会に出場経験もある元バリスタが淹れる上質な珈琲を、是非ご賞味ください。

7月6日(土) 午後二時開演 (2)想う

これまで数え切れないほど多くの人が地震などの自然災害によって被災しました。しかし一口に被災と言っても、そこには多様なグラデーションが存在します。当事者／非当事者を分ける線がどこに存在するのか、はつきりと分かる人はおそらくいません。しかし分かなさは、私たちが誰かを想うきっかけになるのではないのでしょうか。

7月6日(土) 午後七時開演 (3)聞く

人生の最期に、どんな音や声を聞きたいと願いますか？ 私たちが聞きたいものをここに集めました。かつて聞いた声、いま聞こえる音、いつか聞かかもしれない声など、いろんな音声を上演します。

7月7日(日) 午前十時開演 (4)遊ぶ

さまざまな違いを抱えた参加者が、同じ時空間で共に存在しようとする試みです。ツールとして「遊び」を用います。が、十分なアソビもご用意します。私たちもどうなるかわかりません。ちよっぴり怖いけど、期待もしています。

7月7日(日) 午後二時開演 (5)去る

『その場に集まった皆さまと共にその場を「去る」という上演です。退館準備を行い、実際に退館して、その場を共に去ります。』その人らはもう 何処にも生きてはいない』のでしょうか？ ご参加、お待ち申し上げております。

## 料金

一般 1500円

フリーパス 3000円

※介助者、未就学児の方は無料。お気軽にお申し込みください。

## 会場

高槻城公園文化芸術劇場 南館 中スタジオ1(高槻市野見町6-8)

072-671-9999(午前10時-午後5時)月曜休館 \*祝日の場合は翌日

## 高槻De演劇2024

『高槻城公園文化芸術劇場が行う演劇の交流連携型事業。50歳以上の劇団員で構成された高槻シアター劇団「千年団」の第5回公演、高槻シアター劇団「そよ風ペダル」の第10回公演、京都を拠点に活動するシアター劇団「銀宴」の高槻特別公演を実施するとともに、高槻市内を拠点に活動する市民劇団「水曜の家族」および「あした帰った」の公演、そして劇研アクターズラボ高槻の公演を実施します。また、関連事業としてシンポジウム「市民劇と地域文化」も開催します。』



QRコード

公演詳細、チケット申込、会場アクセス等は、QRコードをご確認ください。